

SHOW "No Action No-result"



これから暖かくなって増えて きそうな**押し込み強盗犯** しっかり対策を講じましょう

押し込み強盗って何？

宅配業者やガスの点検を装って訪問（インターフォンや呼び鈴を鳴らし）、家主がドアや扉を開けたら一挙に侵入してくる強盗で、通常は見張役なども入れ、複数での犯行です。

犯人の主目的は金品の強奪ですが、女性への性暴力犯罪、あるいは捕まらないために金品強奪後に殺人を行う連中も少なくありません。

強盗に狙われやすい家の特徴とは？

①表札が古い

古い家は長く居住している住民、即ち高齢者が居住していると推察されやすく、門扉に掲げる表札の状態で、そのあたりが分かりやすいと云われています。表札を新しいものに変えることをお勧めします。



②玄関のすぐそばにインターフォン（呼び鈴）がついている

家主が玄関を開けた途端に犯行を起こしやすいことがあげられます。門扉など来訪者と玄関の間に距離があることで、犯罪者の侵入をし難くすることに繋がります。

③玄関先の情報（靴や傘が女性ものであることが容易に判別できる）を観ています

女性や一人暮らしの家は狙われやすいので作業用の長靴や安全靴、運動靴（女性用であることが見分けにくいモノ）を置いておくことをお勧めします。ベランダの洗濯物も同様です。

④その他として、多層集合住宅は最上階と1・2階が狙われやすい、玄関や勝手口、庭先の窓を施錠していない家、外部から中がみえ難い（背の高い生垣や塀で家の周囲が覆われている）ことで、一旦侵入し犯行を行っても、外部から気づかれ難いこととなります。（植栽は適度に刈り込みしておきましょう）

押し込み強盗を防ぐためには？

- ✓ ドアは**チェーンロックを外さずに来往者に対応**しましょう
- ✓ インターフォンの画面やドアスコープ（覗き穴）を通じ相手を観察しましょう。声は聞こえるがモニターや覗き穴に相手が映らない場合は、念のため警戒し、**チェーンロックを外さない**ことが肝要です。
- ✓ **宅配業者の場合**は、チェーンロックを付けたまま、受取書にサイン（認印）し、荷物は玄関先に置き配をお願いしましょう。空けたドア越しに**相手の身分証を確認**することも大切です。
- ✓ 帰宅時も注意しましょう。犯人は家主が帰宅した際を狙い、玄関の扉を開けた瞬間にいきなり飛び込んでくる場合があります。**家屋に入る際は周囲に不審人物がいないか**に、念のため警戒しましょう。
- ✓ **アポ電**と称する手口もあります。侵入前に目をつけた家に財産がどれくらいあるかを事前調査してきます。その場合は、**役所や警察、金融機関など社会的地位が高いとされる人物に成り済まして電話し、情報を聞き出してきます**ので、電話越しでの相手の身分を決して信じないことも重要です。
- ✓ 窓ガラスを割って強行潜入してくる輩（やから）もいます。**暑い日に窓を開けたままにしておくのは日中でもリスク**がありますので注意してください。

《本紙面はこれで終わり》